

2022年1月14日 IRDAY

第1部（加工事業本部取組み）13：10-14：00

登壇者：代表取締役副社長執行役員 加工事業本部長 井川 伸久

Q1. 12月1日に発表した価格改定の進捗について

A1. 原材料価格高騰による減益要因約60億円は、単純値上げ・規格変更・コストダウン・改善活動等々で同水準乃至、それを上回る水準でカバーできると見込んでいる。

Q2. 今回の原材料価格高騰を受けた、ハム・ソーセージ業界の対応について

A2. 今回の価格改定は、当社発表後の3週間で大手3社も発表し、足並みは揃っている。各社厳しい状況の中、収益確保に取り組んでいると認識している。

Q3. 来期以降の目指す利益水準について

A3. 現状、今期の加工事業本部の事業利益は期初の計画通り150億円に向けて進んでいる。23年3月期は厳しい外部環境の中、160億円の事業利益を目指す。これが達成できれば、24年3月期の最終年度の事業利益目標190億円が見えてくる。

Q4. シャウエッセンで取り組む包材使用量削減を含めた環境負荷低減への取組について

A4. 今回、シャウエッセンの中着型を止めることで包材を約3割削減する。その他にもピザ等の主力ブランドでトレイを紙に変更することで約3割のプラスチック削減を実施する。主力ブランドでプラスチックの使用量を削減することで、環境負荷低減に向けて取り組んでいきたい。

Q5. BIGBOSS 販促について

A4. 昨年12月に北海道の一部量販店で、BIGBOSS 販促を先行実施した。テスト販売ではあったが、一定の手ごたえを感じている。今後、全国展開を視野に入れ実施していきたい。

以上